

ジェネリック医薬品のススメ ハンドブック

- 1 患者の意向を把握する方法は？
 - 2 どんなタイミングでジェネリック医薬品を勧めてる？
 - 3 オーソライズドジェネリックとアドバンスドジェネリック
 - 4 ジェネリック医薬品の勧め方！
- ★ お薬手帳と薬剤情報提供書を活用しましょう

平成30年3月
大阪府



©2014 大阪府もずやん

大阪府では、ジェネリック医薬品の
安心使用促進を推進しています。

まえがき

国民医療費の増加とともに、国民健康保険制度を維持するための負担が増加しています。この制度を維持していくためには国民医療費を少しでも減らすこと、すなわちジェネリック医薬品の使用が求められています。

国は平成32年9月までにジェネリック医薬品の使用割合を80%以上にする目標を定めています。大阪府でもジェネリック医薬品の安心使用促進に取り組んでいます！

平成29年6月、大阪府はジェネリック医薬品の使用割合が高い薬局に対し、その理由を探るべく、アンケートを行いました。このような薬局では、処方せんを応需している主な医療機関が、ジェネリック名または一般名処方をしていること、また薬剤師が患者へ積極的にジェネリック医薬品を勧めていることが分かりました。

このハンドブックは、その結果から患者へのジェネリック医薬品の勧め方好事例についてまとめたものです。薬剤師の取り組みでジェネリック医薬品の安心使用を促進していきましょう！

1 患者の意向を把握する方法は？

ジェネリック医薬品を勧める際に、口頭により意向確認を行っている薬局が多いことが分かりました。薬剤師が患者と信頼関係を築き、個々の状況に応じた相談の中で、ジェネリック医薬品を勧めていくことが重要です。



口頭による意向確認（60.2%）



アンケートによる意向確認（28.4%）



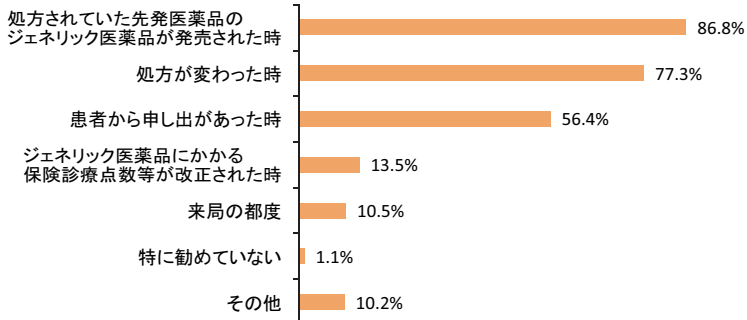
薬歴管理簿（8.5%）

4. 患者が持参したお薬手帳（2.6%）

5. その他（0.3%）

2 どんなタイミングでジェネリック医薬品を勧めてる？

初回来局時以外で、どのようなタイミングでジェネリック医薬品を勧めているか伺ったところ、『処方されていた先発品にジェネリック医薬品が発売になった時や処方が変わった時』などのタイミングが多く、**常日頃からの情報収集**が大切なことが分かりました。また、患者さんとの会話の中でジェネリック医薬品への興味や関心があると感じた際は勧めましょう。そのほかは、**ある一定期間ごとに患者に再確認している**などの回答がありました。



特にこのような時は
勧めてください



🍀 処方が変わった時

🍀 処方されていた先発品のジェネリック医薬品が発売された時

💡 Point

- 日頃からジェネリック医薬品に関する情報収集をしましょう！
- 患者さんとコミュニケーションをとることが大切です。
会話の中でジェネリック医薬品への興味や関心を示した際には勧めましょう！
- 期間を定めて患者さんにジェネリック医薬品の希望を再確認しましょう！

再チャレンジ

3 オーソライズドジェネリックとアドバンスドジェネリック

オーソライズドジェネリック

オーソライズドジェネリックは「許諾を受けたジェネリック医薬品」という意味です。

先発医薬品メーカーからお墨付きを得て製造した、**原薬、添加物、製造方法等**が**先発品と同一**のジェネリック医薬品です。

	オーソライズドジェネリック	一般的なジェネリック医薬品
有効成分	先発品と同じ	
添加物	先発品と同じ	異なる場合がある
製造方法	先発品と同じ	異なる
見た目	刻印のみ異なる	色や大きさが異なる
薬価	先発品より安い	オーソライズドジェネリックと同じかそれ以下

一般的なジェネリック医薬品と同様に、開発コストがあまりかからない分、先発品より安い価格がついているので、お薬代の負担が軽減されます。

先発品のメーカー系列の会社が、まったく同じ工場や生産ラインで、オーソライズドジェネリックとして先駆けて発売することもあります。





アドバンストジェネリック

ジェネリック医薬品の中には、先発品と色や形が違うものもあります。これは、先発品が発売されてからジェネリック医薬品が発売される間の製造技術の進歩や、製薬企業の製剤開発の工夫により、より飲みやすく改良されているからです。



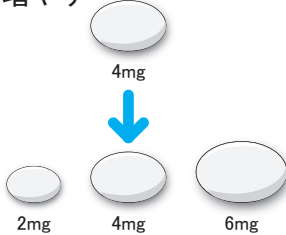
錠剤の大きさを小さくして
飲みやすくしたおくすり



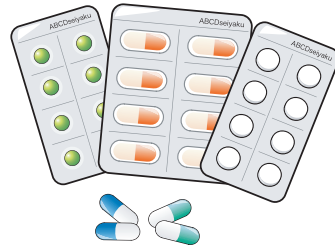
錠剤の飲み込みが苦手な
患者さんのためにゼリー状、
液状にしたおくすり



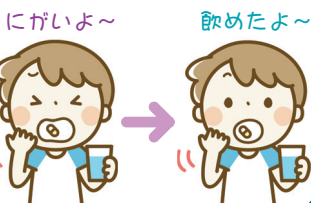
含量のバリエーションを
増やす



間違って飲まないように
文字や色で工夫



味やおいを改良して
飲みやすくしたおくすり



患者さんに優しい製剤
工夫がされているおくすり
もあります



4 ジェネリック医薬品の勧め方！【推奨事例】

ジェネリック医薬品の使用割合が高い薬局の具体事例を示します。患者さんの同意を得て、ジェネリック医薬品の使用を促進しましょう！

オーソライズドジェネリックの積極採用

- オーソライズドジェネリックが発売された時に再度説明すると、変更を希望されることが多い。
- オーソライズドジェネリックがある場合は、オーソライズドジェネリックを切り口にして変更を勧めると、ジェネリック医薬品に対する意識が変わることがある。
- オーソライズドジェネリックについて詳しく説明することでジェネリックへの変更につながることもある。

製剤工夫をしたアドバンスドジェネリックを勧める

- 錠剤サイズの小型化やOD錠といった製剤工夫により薬が飲みやすくなっていることを説明し、ジェネリック医薬品の使用の理解を得た。
- 飲み込みが苦手な方に対し、後発だと液剤や口腔内崩壊錠があると説明し、ジェネリック医薬品の使用の理解を得た。



患者対応

- 効果がないと認識していたので、いつでも先発品にもどすことができると説明すると、ジェネリック医薬品を使用し、今も継続している。
- 一度変更を拒まれても、間隔をあけて二度三度説明することにより理解を得ることができる。
- 初回確認は無理をせず患者さんの意向を聞き、数ヶ月後に再確認したときに変更可になることが多い。
- 来局するたびにジェネリック医薬品に対する偏見を無くしていき、最終的に薬剤師との信頼関係からジェネリック医薬品に変更する事に理解を得た。
- その場で理解を得ることはほとんどない。時間をおいてから再度説明すると、迷っていた患者なら変更する場合がある。
- 1薬品をジェネリック医薬品へ変更すると他も変更しやすくなる。
- 数種類の先発品服用中の患者にまず、1種類をジェネリック医薬品へ変更してもらう。

その他

- 値段が高いと言われる患者にはジェネリック医薬品に変更すると値段がどれだけ下がるかを提示することで、ジェネリック医薬品へ変更になった。
- 高額薬価の先発品で新たにジェネリック医薬品が出て負担金が減ることなど、具体的に先発品とジェネリック医薬品の窓口負担金を提示し理解が得られた。
- 国民健康保険制度を次世代に渡って存続させる為に、ジェネリック医薬品を使うことの意義を説明したところ、理解、賛同を得た。
- 自己負担の無い方に医療費削減に協力して欲しいと願っている。

★ お薬手帳と薬剤情報提供書を活用しましょう

「お薬手帳」は、患者が服用している医薬品等の名称・用法・用量等を記録した手帳で、お薬情報やアレルギー情報等を医療機関の医師、薬剤師にフィードバックする方法として活用されており、重複投薬や相互作用等の未然防止に非常に有効です。

活用も徐々に進んでいますが、さらに啓発を進めていきましょう。

～患者にとって大切なお薬の情報～

- 複数の医療機関を受診してもお薬手帳は一人1冊にまとめる。
- 薬局で交付する薬剤情報提供書とともに、診察時にも先生に見せる。
- 緊急時や入院時にも必要な情報が記載されている。

お薬手帳 あなたの薬情報を いつも かばんやポケットに！



問合せ先

大阪府 健康医療部 薬務課 医薬品流通グループ
〒540-8570 大阪市中央区大手前2-1-22
TEL: 06-6941-0351 (内線2553) FAX: 06-6944-6701



(この冊子は10,000部作成し、1冊あたりの単価は9.6円です)